

上島町消防だより

救命処置を身に付けよう！

突然、近くにいた人の心臓や呼吸が止まってしまった。そんな場面に出くわした時、あなたはどうしますか。上島町内では、すぐに救急車を呼んでも救急隊が到着するまでに平均で13分かかります。そのまま何もせずに放っておけば助かるはずの命も失われてしまうでしょう。

いざという時のために、救命処置を身に付けておきましょう！

心肺蘇生法の流れ

1 意識の確認（反応の有無）

肩口を叩きながら呼び掛ける
↓
反応がない⇒意識がない

2 助けを呼ぶ

大きな声で周囲に知らせる

3 119番通報

- ① 119番通報をお願いします
- ② AEDを持ってきてもらう
- ③ 人を多く集めてもらう

4 心肺蘇生法

- ① 呼吸の観察（呼吸の有無）
胸やお腹が動いているかどうか

観察する↓動いていない⇒呼吸をしていない⇒心臓も止まっている。

② 胸骨圧迫（胸を強く押す）

呼吸をしていないと判断したら直ちに胸の真ん中を強く押す。

☆胸骨圧迫時のポイント☆

○圧迫位置―胸の真ん中

○圧迫深さ―5cm以上

○圧迫リズム―1

分間に100回以上

※救急隊が到着するまでひたすら強く押し続ける。協力できる人がいれば

疲れる前に交替しながら続ける。



5 人工呼吸

人工呼吸を行うことが出来ない、または躊躇する場合、人工呼吸は行わず、胸骨圧迫のみを続ける。

6 AED

- ① AEDの電源を入れる
- ② 着衣を取り、胸部を出す

- ③ パッドを取り出し、表示されている絵のとおり貼り付ける
- ④ 解析（自動）
- ⑤ 「ショックが必要です」のメッセージが流れたら患者に誰も触れていないことを確認してショックボタンを押す
- ⑥ ショックが完了したら直ちに胸骨圧迫を開始する



電極パッドの正しい位置(成人)

講習会のご案内

心肺蘇生法は5年ごとに見直しが行われています。昨年見直しが行われ、これまでとは手順が変わり一般の方でも心肺蘇生法が行いやすいように改良されました。上島町消防署でも今年度から新しいガイドラインに準拠した講習会を行っています。過去に救命講習を受けた方、応急手当を覚えたい方、少人数からでも受講できますので、サークルや職場の仲間と受講してみませんか？

○救命基礎講習

心肺蘇生法を中心とした1～2時間程度の講習会

○普通救命講習会（推奨）

心肺蘇生法を中心として止血法やその他の応急処置なども含めた3時間の講習会

住宅用火災警報器取付に係る振り込め詐欺について

最近、上島町管内において消防署の名を騙って住宅用火災警報器を取り付けた場合には消防署に手数料を払い込むよう金銭を要求する電話が数件かかっております。消防本部、消防署では一切このような手数料は徴収しておりません。もし、このような不振な電話がかかってきた場合、すぐに振込をせず、消防本部へご相談下さい。

【不振な訪問販売にご注意！】

住宅用火災警報器を、消防職員、消防団員、公的機関が販売することはありません。（消火器の点検、販売も同じです）

住宅用火災警報器の設置等に関するお問い合わせ、ご相談は上島町消防本部・消防署へ

平成23年出動件数

年別	摘要	火災	救急
平成23年(6月)		0	38
平成22年(6月)		0	34
昨年比		0	+4
23年累計		4	245

平成23年6月30日現在

火災・救急・救助は119番
上島町消防本部
77-4118(代)